

第1学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年11月14日(木)5校時

児 童 第1学年 男5名 女4名 計9名

1 単元名 のりもののことをしらべてかこう

教材名 「いろいろなふね」

2 児童の実態

1年生になって2度目の説明文である。「どうやってみをまもるのかな」では、「どうぶつのひみつお知らせカード」を作る目的をもちながら、動物の「体のつくり」「問いの文」「答えの文」に着目しながら内容を読み取る学習を行ってきた。児童は、教材で学んだ基本文型をもとに、自分の考えをまとめることができるようになってきたものの、大事な言葉を探しながら読書資料を読んだり、書いたりする経験はまだ少ない。

この活動を通して、書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、他の本で調べたことをまとめることができる力を育みたい。

3 身に付けさせたい力と言語活動の構想

【身に付けさせたい力】

文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(C読むこと(1)ウ)

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(C読むこと(1)ア)

【本単元の言語活動】

乗り物についての本を読んで調べたことを短くまとめ、「のりものじまんカード」に書き、友達に説明することができる。

(「C読むこと」(2)言語活動例ア)

【言語活動の特徴】

本単元の言語活動として、「C読むこと」(2)の言語活動例「ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動」を具現化し、「のりものじまんカード」を作成することを位置づけた。

カードにまとめるという目的に応じて「やく目」「つくり」「できること」を読み取る力が必要となる。また、カードという限られた範囲では、調べた文章をそのまま書き写すのではなく、必要な言葉や文を見つけて短くまとめる力が必要となる。乗り物という題材を生かし、児童が情報活用の必要性を実感し、主体的に取り組む姿を期待している。

【複式学習を行う上で付けなければならない力】

ア 学習課題が分かる。

イ 自力解決の中で、自分の考えをもつことができる。

ウ ペア学習で、自分の考えを話したり、友達の発表を聞いたりすることができる。

エ 全体学習の中で、話し合った内容が分かる。

4 指導にあたって

本単元の重点指導事項は、C読むこと(1)ア「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」及び、ウ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」である。

特徴的な機能をもった四種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などについて説明した文章である。四種類の船の例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即した内容を正確に捉えることに適している。また、乗り物という題材は、児童にとって身近なものであるから、興味や関心をもって学習に取り組むことができる教材である。

第一次では、教材文にある船の写真を拡大した物を提示し、それを見て想像力を働かせ自由に話し合うことで教材を読む心構えをつくる。また、学習の最後には、他の乗り物の「のりものじまんカード」を書くことを知らせ、児童の意欲を高めたい。

第二次では、教材文を拡大したものを提示し、まず、写真と繋いで出てくる船の種類とそれぞれの船の説明範囲を読み取る。そして、それぞれの船の「やく目」「つくり」「できること」について、書かれている事柄を正しく読み取る学習を展開していく。また、読み取ったことをワークシートに書く活動も取り入れる。

第三次では、他の乗り物読書資料から、第二次で学習した文型に当てはめ「のりものじまんカード」を書き、話し合う。

5 単元の目標

文章の中の大事な言葉や文を正しく読み取り、他の本で読んで調べたことをまとめることができる。

学習指導要領との関連:C(1)ア、ウ(2)ア 言葉の特徴(1)ア

6 単元の評価規準

(1) 知識・技能

言葉の特徴(1)ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。

(2) 思考・判断・表現

C(1)ウ ◎文章の中の大事な言葉や文を見付けている。

C(1)ア 事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取っている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

積極的に大事な言葉や文を見付け、学習の見通しを持ちながら、教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。

7 単元の指導計画(12時間計画)

次	時	学 習 活 動	言語活動に関する留意点	評価基準(評価方法)
一	1	○題名や教科書の写真を手がかりに、船を見たことや乗ったこと、船について知っていることについて話し合う。 ・それぞれが何のための船なのかを想像して話し合いながら、学習課題を確かめる。	・全文を大まかに捉えさせるとともに、内容への興味・関心をもたせる。 手立て①<視点1>	【主】 積極的に大事な言葉や文を見つけ、学習の見通しを持ちながら、教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。 (行動観察・発言)
	2	○教材文を読んで、内容の大体を読み取る。 ・全文を音読し、四種類の船について説明していることを確認する。	・船の写真を手がかりに、教材文に出てきた順に、船名を書いた紙を並び替えさせる。 手立て①<視点1>	【思】 どこにどんな船のことが書かれているか、内容の大体を読み取っている。 【知】 事柄の順序に気をつけて、主語と述語の関係を理解している。(発言・ワークシート)
二	3	○「きゃくせん」の内容を読み取る。 ・「きゃくせん」の説明部分を音読し、書かれていることを読み取る。 ・「きゃくせん」について読み取ったことをカードにまとめる。	・「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」が分かる場所に線を引き、読み取らせる。 ・「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」について、カードにまとめさせる。 手立て②	【思】 「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事なことに気を付けながらまとめている。 (発言・ワークシート)

4	<p>○「フェリーボート」の内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フェリーボート」の説明部分を音読し、書かれていることを読み取る。 ・「フェリーボート」について読み取ったことをカードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」が分かるところに線を引き、読み取らせる。 ・「きゃくせん」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気付かせる。 ・「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」について、カードにまとめさせる。 <p>手立て②</p>	<p>【思】「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事なことに気を付けながらまとめている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
5	<p>○「ぎょせん」の内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎょせん」の説明部分を音読し、書かれていることを読み取る。 ・「ぎょせん」について読み取ったことをカードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぎょせん」の「やく目」「つくり」「できること」が分かるところに線を引き、読み取らせる。 ・「きゃくせん」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気付かせる。 ・「ぎょせん」の「やく目」「つくり」「できること」について、カードにまとめさせる。 <p>手立て②</p>	<p>【思】「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事なことに気を付けながらまとめている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
6 本 時	<p>○「しょうぼうてい」の内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しょうぼうてい」の説明部分を音読し、書かれていることを読み取る。 ・「しょうぼうてい」について読み取ったことをカードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」が分かるところに線を引き、読み取らせる。 ・「きゃくせん」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気付かせる。 ・「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」について、カードにまとめさせる。 <p>手立て②</p>	<p>【思】「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事なことに気を付けながらまとめている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
7	<p>○まとめの段落に書かれていることを読み取り、文章全体の構成を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑭段落が、この文章のまとめに当たることを確認し、文章全体の構成を捉える。 ・全文を通読し、説明に使われている基本的な文型を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提示とまとめの段落、その間に四つの船の写真をしまして、文章構成をとらえさせる。 ・四つの船について観点別に読み取ってきたことを押さえ、それぞれの説明に使われている文型について、「しょうぼうてい」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気付か 	<p>【思】「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事なことに気を付けながらまとめている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>

			せる。 <u>手立て②</u>	
三	8 9	○乗り物の本を読み、調べたことを見付ける。 ・選んだ本を再度読み返し、カードにまとめるための乗り物を決める。 ・選んだ乗り物について、調べたことを書く。	・乗り物についての本を読み、カードにまとめさせる。 ・本に書かれていた内容を、「やく目」「つくり」「できること」の観点を踏まえて読み取り、カードにまとめさせる。 <u>手立て③<視点2></u>	【思】好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。(行動観察)
	10 11	○調べたことをもとにカードにまとめる。 ・調べた情報をもとに、カードの下書きをする。 ・下書きを読み合い、カードを完成する。	・カードに書く内容を確認、下書きとしてまとめさせる。 ・カードをみんなで読み合い、それぞれの観点をもとにカードを完成させる。 <u>手立て③<視点2></u>	【思】乗り物の特徴が伝わるように、語と語のつながりを意識しながら、カードに整理して書いている。 (行動観察・発言)
	12	○単元の学習をふり返り、分かったことや身に付けたことを確かめる。 ・作ったカードを読み合い、良かったところや気付いたことを話し合う。 ・単元の学習を振り返る。	・良かったところや気付いたところを話し合わせる。 ・学習の振り返りを書かせる。 <u>手立て③<視点2></u>	【思】「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに、大事な言葉や文を見付けながら文章を読んだことを確かめている。 (発言)

8 本時の指導

(1) 目標「しょうぼうてい」について、書かれている内容を正しく読み取ることができる。

(2) 本校の研究との関わり<遠野中学校区の視点>

①課題意識の持続の工夫…前時からの関連を確認し、課題を作る。<遠野中学校区視点1>

②学習活動の工夫…(学び合い)ペア・全体学習を取り入れる。(学びを表現させる)技カードやワークシートの活用

③達成状況の把握の工夫…自分の考えをワークシートに書かせることで把握に生かす。<遠野中学校区視点2>

(3) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点【評価】(評価方法)
導入 10分	1 学習範囲を音読する。 2 本時の学習課題をつかむ。	○「しょうぼうてい」の説明部分を詳しく読むことを伝え、読む範囲を確認しながら読み取らせる。 ・前時の学習を想起させ、意欲付けを図る。 ○学習課題をしっかりと読み、本時のゴールを意識させる。(学習の流れを明記した物を黒板に貼る。) <u>手立て①<視点1></u>
	「しょうぼうてい」は、どのようなふねですか。	
展	3 「しょうぼうてい」の説明部分を読み取る。	○「しょうぼうてい」が、どのようになっているか写真から発表させる。 ・今までの船の様子と同じ文章構成になっていることに

<p>開</p> <p>25分</p>	<p>4 「しょうぼうてい」は、どのようなことができるのかを読み取る。</p> <p>① 一人学び</p> <p>② ペア学習</p> <p>5 読み取ったことを確認する。</p> <p>6 学習したことをまとめる。</p>	<p>気付かせ、「しょうぼうてい」の読み取りにつなげたい。</p> <p>○「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」が分かるところに、サイドラインを引かせる。</p> <p>・上記の観点と写真とを対応させ、「しょうぼうてい」の様子を確認させる。手立て②</p> <p>・一人学びでは、写真を示しながら、教材文の言葉を使いまとめさせる。</p> <p>・「技カード」をもとにまとめ、自分の考えを書き、伝え合い発表させる。 手立て②</p> <p>○教材文に即しながら、「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、まとめていく。</p> <p>【思】「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉に気を付けながらまとめている。(発言・ワークシート) 手立て③<視点2></p> <p>○読み取ったことを全体のまとめとしたい。</p>
<p>終末</p> <p>10分</p>	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>○「しょうぼうてい」の様子を思い浮かべながら音読させる。</p> <p>・「おどろいた。」「友達の考えを聞いてなるほどと思った。」など、振り返りの視点を与え、ワークシートに評価させ、振り返りも発表させる。</p> <p>手立て③<視点2></p> <p>○自動車などの調べ学習をすることを話す。</p>

9 板書計画

